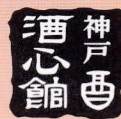


第129回

「酒蔵文化道場」



題目： 日本における薬の歴史

語り手： 薬剤師
大阪大学薬学研究科招聘研究員

吉田 祐子 氏

薬は我々の日常生活で大変身近な存在であり、一度も使ったことがない人はいないでしょう。植物や動物など天然物を経験的に用い、治療効果を得られたものが薬となり、その歴史は人類の歴史とともに歩んできたといっても過言ではありません。東洋では漢方薬が、欧州では錬金術の発展に伴う合成薬品の開発が、それぞれ発達しました。日本ではどのようにして薬が用いられてきたのかを歴史に沿って、ご紹介させていただきます。

令和4年 5月28日(土)

PM 4:00

神戸酒心館ホール

ビジター会費 2,000 円

講演の後、講師を囲んでの懇親会がございます。(要予約・別途 4,000 円)

*席に余裕がある限り、当日でも懇親会に5,000円でご参加いただけます(お料理内容は予約の方と異なります)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



お問い合わせお申し込みは
神戸酒心館 事業部 TEL:078-841-1121

Email info@shushinkan.co.jp